年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (2 学年用)

教 科 : **国語** 科目: **論理国語**

単位数:2単位

対象学年組:第 2 学年

教科担当者: (1組:首藤) (2組:首藤) (3組:丸山) (4組:丸山) (5組:丸山) (6組:首藤) (7組:首藤)

使用教科書: 高等学校 標準 論理国語(第一学習社)

【知識及び技能】

教 科 の 目 標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について, その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに,言語感覚を磨き,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,生涯に

わたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目の目標:

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価 を深めようとしているとともに、読書に親しも を向上させ、我が国の言語文化の担い手として	えを広げたり深めたりしながら、言葉がも を深めようとしているとともに、読書に親 を向上させ、我が国の言語文化の担い手と	ながら、言葉がもつ価値への認識 ともに、読書に親しむことで自己 语文化の担い手としての自覚を深					
	単元の具体的な	1	めて言葉を効果的に使えるようになる。		めて言葉を効果的に使えるようになる。		_	4h	配当	
	指導目標		指導項目・内容		評価規準	知	思	態	当時間	
	1 単元名 新しい発見									
	【知識及び技能】	【使用教材	材】	【知識及び技能	1					
	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めて いる。	個人端末	5、プリント	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章 の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。						
1	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項目	目・内容】	【思考力、判断力、表現力等】						
学期	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。	-	が導き出した答え」	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。			0	0	8	
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に 沿って要旨をまとめることができる。			【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨 をまとめようとしている。						
	2 単元名 言葉と文化									
	【知識及び技能】	【使用教材】		【知識及び技能】		·				
	積極的に名所絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と 照合して説明できる。	個人端末	5、プリント	積極的に名所: 明しようとしてい	絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と照合して説 いる。					
1	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項目	目・内容】	【思考力、判断	力、表現力等】					
学期	「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができる。	・「名所	所絵はがきの東西」	「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するため 的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論さ を工夫することがしようとしている。		0	0	0	8	
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に名所絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と 照合して説明できる。			【学びに向かう 積極的に名所: 明しようとしてい	絵はがきの特徴を理解し、筆者の主張と照合して説					
-	3 単元名 実用文									
	【知識及び技能】	【使用教材	37]	【知識及び技能	1				ı	
	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。((2)ア)	個人端末		-	- 是や反証など情報と情報との関係について理解を深					
1	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項目	■ · 内容】	【思考力、判断	力、表現力等】					
学期	「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の 構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確か め、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫で きる。	・「ボラ	ンティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	するなど、文章	いて、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味 全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確 こなるよう工夫しようとしている。	0	0	0	4	
	【学びに向かう力、人間性等】 実用文の書き方が場面や目的によって異なることを積極的に把握できる。			【学びに向かう 実用文の書き しようとしている	方が場面や目的によって異なることを積極的に把握	•				
\vdash	1 単元名 生活の中の表現読み比べ									
	【知識及び技能】	【使用教材	材】	【知識及び技能	1					
	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。((1)エ)	個人端末	5、プリント		基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の仕方について理解を深めようとしている。((1)エ)					
++0	【思考力、判断力、表現力等】 読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要盲を把握できる。(B(1)ア)	_	目・内容] は人の·····」	読むこと」におい	カ、表現力等】 いて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の 館に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようと)ア)	0	0	0	10	
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。			_	力、人間性等】 段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構 している。					

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (2 学年用)

教 科 : **国語** 科目: **論理国語**

単 位 数 : **2** 単位 対象学年組:第 **2** 学年

对家子年祖·弗 Z 字年

教科担当者: (1組:首藤) (2組:首藤) (3組:丸山) (4組:丸山) (5組:丸山) (6組:首藤) (7組:首藤)

使用教科書: 高等学校 標準 論理国語(第一学習社)

【知識及び技能】

筆者の自己認知ついての主張を捉え、その主張の理由 を粘り強く説明できる。

教 科 の 目 標 : 言葉による見方・考え方を働かせ,言語活動を通して,国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め,思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味 するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確 に伝わる文章になるよう工夫できる。

科目の目標:

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わった えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ付 を深めようとしているとともに、読書に親して を向上させ、我が国の言語文化の担い手とし めて言葉を効果的に使えるようになる。	価値への認識 ひことで自己	えを広げたり深めたりしながら、言葉がも を深めようとしているとともに、読書に発	っつ任見しま	が直ぐ いこと	への こで [認識自己	
	単元の具体的な		指導項目・内容		評価規準	知	思	態	配当時	
	指導目標								間	
	2 単元名 生活の中の表現読み比べ						_	_	_	
	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める ことができる。((1)エ)	【使用教 個人端末	材】	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章 の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。((1)エ						
2	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項	【指導項目・内容】		·····································	"]				
学期	読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できる。(B(1)ア)	・「犬も歩けば棒に当たる」		誘むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の 展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握しようと している。(B(1)ア)			0	0	10	
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って 本文の構成を捉えることができる。			【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。						
	【知識及び技能】	【使用教	材】	【知識及び技能						
	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用できる。((2)イ)	個人端末	「報を重要度や抽象度などによって階層化して整理すっいて理解を深め使用しようとしている。((2)イ)							
2	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項目・内容】		【思考力、判断力、表現力等】						
学期	「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の 構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確か め、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫で きる。(A(1)オ)	· [ヒト	いはなぜヒトになったか」	「書くこと」においするなど、文章	いて、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味 全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確 こなるよう工夫しようとしている。(A(1)オ)			0	10	
	【学びに向かう力、人間性等】 本文中の表現について、粘り強く適切な意味を把握し、 説明できる。			【学びに向かうカ、人間性等】 本文中の表現について、粘り強く適切な意味を把握し、説明しようとしている。						
	1 単元名 自己と社会「共同性の幻想」									
	【知識及び技能】	【使用教材】								
	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めて いる。	個人端末	え、プリント	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章 の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】						
3	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項	目・内容】				1			
学期	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。	「共同	9性の幻想」	「読むこと」にお	いて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理 り確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する	0	0	0	10	
	【学びに向かう力、人間性等】 筆者の共同性ついての主張を捉え、その主張の理由を 粘り強く説明できる。			1	カ、人間性等】 ついての主張を捉え、その主張の理由を粘り強く説	-				
	2 単元名 自己と社会「鏡としての他者」									
	「知識及び技能」									
	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めて いる。		MJ ミ、ブリント		としての他者」					
3	【思考力、判断力、表現力等】	【指導項目・内容】		【思考力、判断力、表現力等】		1				
学期	「書〈こと」において、個々の文の表現の仕方や段落の 構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確か め、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫で きる。		としての他者」		基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の仕方について理解を深めている。	章		0	10	
	【学びに向かう力、人間性等】			【学びに向かう力、人間性等】		1	1			
	第4のウコ製物のいての主張と担う えの主張の囲丸	1		「またしたないで、何もの立の主用の仕土ものなの様体がい			l	1	1	